



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2021 **1**



12月2日(水)、兵庫県民会館において、保健・医療・福祉研究会を開催。「なぜ今、協同組合なのか？ 協同組合と地域包括ケア」と題して、大阪大学大学院人間科学研究科 齊藤弥生教授にご講演いただきました。





兵庫県生活協同組合連合会  
会長理事

木田 克也  
(きだ・かつや)

## 「未来はわれらのものなり」

新年あけましておめでとうござい  
ます。

会員みなさまにおかれましては、  
今年のお正月はコロナ禍で多くの笑顔  
に会える機会が減るなど、いつもの様  
子とは異なるものの、よき新春を迎え  
られたことと存じます。思い起こしま  
すと、昨年の年初めに、さまざまな情  
報が氾濫する社会にあって、生協は「安  
心してつながる力」を発揮して、より  
良いくらしと地域を創る役割を果たし  
たいですね、とお伝えしました。

ところがそのわずか2カ月後には、  
新型コロナウイルス感染が世界中に一  
気にすすみ、人との接触も自粛する中  
で、私たち生協が大切にしてきた「み  
んなの力を寄せ合う」機会は減少し、  
顔と顔を合わせ話しあうことも容易で  
はなくなりました。

特に、大勢の人が一堂に会するイベ  
ントやフェスタ、講演会などは開催そ  
のものが中止を余儀なくされ、会員生  
協・団体のみなさんと万全の準備をす  
すめてきた兵庫県生協連の70周年の節  
目を祝う記念行事も見送ることとなり、  
大変残念な思いもしました。

しかし、逆風は変革のチャンスとも  
なります。具体的には、新たなつなが  
り方が拡がりました。例えば、農協さ  
ん・漁協さん・森林組合さんなど兵庫  
の協同組合が連携し大学生協が食材の

支援を受けることで、学生の食生活を  
サポートする取り組みや、また、リモー  
トなどを通してこれまで以上に多くの  
人の参加や時間の活用が可能になっ  
てきています。

もちろんまだまだ、生活様式が変わ  
りコロナ禍の収束は見通せない状況で  
す。さらに、これから先も自然災害や  
気候変動など困難な状況は形を変えて  
私たちに迫ってくることでしょう。

しかしこのような時こそ、私たち生  
協の生みの親でもあり、兵庫の地に大  
きな足跡を残した賀川豊彦が、東京学  
生消費組合創立10周年（1935年）  
に送った「未来ハ我等のものなり」に  
深く思いを寄せたいと思います。「我  
等」とは、どのような時代にあっても  
助け合い支え合うことで新たな価値を  
生み出し、協同の力でより良いくらし  
と地域を創り上げていく志を持つすべ  
ての人のことだと思えます。

生協の活動と事業に携わる私たちも  
「我等」の一人として、持続可能で誰  
ひとり取り残さない未来社会を確たる  
ものにしていきたいですね。

2021年も「協同が息づく兵庫の  
まちづくり」を、みなさんと力をあわ  
せて、ご一緒にすすみたいと思います。  
どうぞよろしく願いいたします。

## CONTENTS

- |   |   |
|---|---|
| 2. 想点                                     | 15. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓  |
| 3. 会員生協・団体：今年の抱負                          | 16. 2020年度 ひょうご消費者セミナー ご案内<br>／兵庫JCC 協同組合研究・交流会 ご案内<br>／県連行事予定／編集後記 |
| 13. 会員生協・団体：今年の抱負／第4回理事会報告<br>／初級経理学校 ご案内 |   |
| 14. 協同組合のかけ橋                              |   |



# 2021年 今年の抱負



## 創立100周年、初志を大切に



生活協同組合コープこうべ  
常勤理事

中川 寿子

(なかがわ・ひさこ)

あけましておめでとうございます。

2020年は人類史に残る1年となりました。昨年の初めに今日の状況を推測しえた人はいなかったでしょう。まずはワクチンの普及によって、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願うばかりです。コープこうべが昨年11月に開催した「総代のつどい」には、700人以上の「声」が寄せられました。長引く自粛生活への疲れや健康不安の訴え、近所のお年寄りを気遣う声が圧倒的に多く、自発的に「見守りや手助けを始めた」という声も。生協の宅配へのエールや、「困っている人を生協が支えてほしい」という声もありました。

また、ふれあいを禁じられて改めて、「無駄話の大切さ」「集まれることのありがたさ」をしみじみと語った声も散見されました。

生協活動の出発点は、人と人との出会い、困りごとを分かち合うこと。学び合いによって組合員一人ひとりの課題解決力が増し、仲間が増えることで一人の課題が万人のものとなり、組織や社会システムの力で解決できるようになります。

今年4月、コープこうべは創立100周年を迎えます。賀川豊彦の説く理想社会を目指した初志を忘れず、未来を切り拓いてまいります。

## 大きな変革の中でこそ、協同の真価を



生活クラブ生活協同組合  
都市生活  
専務理事

角田 学

(すみだ・まなぶ)

あけましておめでとうございます。

2020年は、年頭には想像もしていなかった新型コロナウイルス感染拡大に翻弄された年でした。劇的な終息を期待するより、感染リスクを減らす対策を生活の一部としていく日々がしばらく続くことになりました。

世界中が同時に一つの問題に取り組みざるを得ない状況が、これまでの社会のあり方を大きく変え、新しい生活様式、行動様式が広がりました。同じく、これまでの生活様式を見直す契機として、SDGsへの理解と関心が高まった年でもありました。禍福の違いはありますが、期せずして、パラダイムシフトがすすむことをポジティブにとらえる見方もあります。大きな変革の中で、先行きの見えない厳しい環境の中であるからこそ、私たち生活協同組合がこれまで培ってきた「協同したすけあい」の本質が試される2021年なのだと考えます。

生活クラブ生協では、引き続き、F(食)・E(エネルギー)・C(ケア)の地域循環を創り出すことを掲げ、「協同したすけあい」の真価を発揮する年とできるよう、皆さまと共に努力していく所存です。

生活協同組合  
コープ自然派兵庫  
専務理事前田 陽一  
(まえだ・よういち)

## 持続可能な社会へ 協同により取り組みをすすめます

新年あけましておめでとうございます。

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による宅配需要の高まりから事業が伸長しています。組合員供給を維持する体制の構築を、感染防止を行いながら努めてきました。また、事業と同様、組合員活動に於いても、非接触対応が求められました。私たちが大切にしてきた「食と環境を守る運動」を止めることはできないと考え、組合員理事を中心に、オンライン講演会や交流会に積極的に取り組みました。田んぼ等野外活動では、午前午後に分けて密を避けるなど工夫を続けています。オンラインの活用により従来とは異なる層の参加も増え、活動の選択肢が広がりました。

一方、コロナ禍は社会の有り様が問われています。特に「誰もが人らしく生きられる社会」、「地球に負荷をかけない暮らし」は最優先課題です。コープ自然派は食と、食に纏わる環境問題に取り組んできましたが、今後は、温暖化や貧困・格差といったより緊急性の高い問題についても、皆さんと一緒に考え、協同による取り組みをすすめたいと思います。

生活協同組合連合会  
コープ自然派事業連合  
理事長神野 利夫  
(じんの・としお)

## 持続可能な循環型地域社会に向けて

あけましておめでとうございます。

2020年は、コロナ禍の一年でした。それにより価値観、行動、働き方等多くのもが変化しました。誰もが今まで以上に健康を意識し、政府・マスキの行動制限を受け入れ、経済の変化に翻弄されました。社会の大きな変化の中で、協同組合が組合員の暮らしを守るためにどこまで変化できたのか、今後のためにも検証が必要でしょう。

また、コロナ禍の長期化によってグローバル経済社会の矛盾が大きく露呈してきました。欧米においては、コロナ被害は、貧困層に大きく偏っています。日本においては、食料をはじめとする生活の基礎をなす物資を国外に大きく依存する社会の脆弱性が表面化しました。国内において自殺者の増加はセーフティネットが機能していないことを示しています。経済と感染症対策は、二律背反ではありません。今だからこそ「持続可能な循環型地域社会」の在り方を協同組合の立場で行政に提案していく必要があると考えます。

2021年はアフター・ウィズコロナを考えざるを得ません。持続可能な地域社会の形成において、協同組合の果たすべき役割は今まで以上に大きくなったと考えます。コープ自然派は、地域の環境、持続可能な経済の循環、食の安心安全において、「国産オーガニック」を中心とした取り組みを進めることで役割を果たしたいと思います。

西宮市職員生活協同組合  
事務局長山西 元  
(やまにし・はじめ)

## 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

当生協は、兵庫県下唯一の市役所生協として、組合員である西宮市職員への福利厚生のため、サービスの提供に努めています。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状態にあり、感染症への警戒感が残るなか、先行きの見通しについても、不透明感がきわめて強くなっています。

昨年は、市においても事業継続計画（BCP）が発動され、新たな対応に迫られる状況の中、当生協では、マスクやハンドソープ、アルコール消毒液等の商品の確保に努め、組合員へあっせんを行いました。また、生協祭は中止し、代わりに規模を縮小した「還元セール」を開催しました。感染防止の観点から、期間を1日延長し来場者の分散化を図り、また、書籍等は購入実績のある組合員にDMを送付して予約を受け付けるなどの取り組みの結果、直営店では、昨年並みの供給高を確保することができました。セールでのお買い上げ福引では、景品として市の観光キャラクター「みやたん」をプリントしたマスクを作成し、これが大変好評でした。

本年も様々な事業に取り組めるよう、市の関係部局や互助会との連携をさらに深め、存在意義を高め、いく努力を行ってまいりますので、ご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



## 新年特集

### A f t e r コロナに向けて

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症により、これまでに経験したことがないキャンパス状況となりました。大学・生協のイベントが全て中止。ある一定期間の入構禁止に課外活動の自粛。そして遠隔授業（オンライン授業）。神戸大学生協設立65年の中で培ったノウハウがまったく通用しませんでした。Face To Faceがいかに大切か。そして大学という環境はやはり特殊な空間であり、その特殊な空間の中の事業・活動がいかに難しいか。大学生協が「大切にしていたこと」「難しいこと」の両面をあらためて痛感致しました。今後、コロナ以前に戻ることには想定できず、かつ大きく好転することはないと考えています。しかし、組合員のキャンパスライフ支援は大学生協の使命です。Afterコロナでは、大学の在り方が大きく変化します。それに伴い、組合員のキャンパスライフも大きく変化すると思われまます。そのような時代を迎えるにあたり、柔軟かつ速やかに対応できるかが大切です。大学におけるコミュニケーションの一員であることを認識し、大学内における生協の役割をさらに発揮しなければなりません。本年も皆様にご支援賜りますようお願い致します。



神戸大学生協同組合  
専務理事

坂本 安弘

(さかもと・やすひろ)

### 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けた大変な一年となりました。しかし、大変な環境の中でも、大学が実施する学生支援のための施策などに関して、生協が実務を担ったり相談を受けたりする事例がいくつもあり、生協は組合員や大学から、一定の信頼を受け役割を果たすことを期待されていると実感できた年でもありました。

キャンパスライフが大きく変化した中、今年も例年にも増して組合員の信頼を裏切ることがないように、大学生協がこれまで当たり前前に提供してきた商品・サービスについて、組合員のニーズとのずれが起きている点、留意しながら事業活動を進めていくことが重要です。厳しい経営状況が続くことが予測されますがピンチはチャンスと捉え、事業構造の変革にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。何より今年も昨年のどん底からV字回復する、良い年となるよう心より願っております。本年も皆様からのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



関西学院大学生協同組合／  
大手前大学生協同組合  
専務理事

池上 正寿

(いけがみ・まさひさ)

### 大学生協がこれからも皆様のお役に立つために

新年あけましておめでとうございます。期中での交代となりましたが、昨年の10月より神戸市外国大消費生活協同組合の専務理事に就任いたしました。宜しくお願い致します。

新型コロナウイルスの影響で大学学内での対面授業は大きく減少し、学内の人口が減る中、大学生協は厳しい経営環境におかれております。神戸市外国語大学生協も、他の大学生協同様、大きな影響を受けております。

経営的に大きな痛手を受けていることはもちろんですが、大学生協が想定していなかった、大学内に我々が奉仕すべき組合員がいない状況下で、教職員の皆様、特に学生の組合員の皆様に、どうすればお役に立つことができるのか、今後の組織の継続のために、あらためて考え直す機会となりました。

今後、学生の皆様、そして大学を支えて行くために、大学生協が事業体として安定的に存続していくことが非常に重要だと考えております。

これから先の未来も、大学生協がしっかり組合員の皆様のお役に立つことができるように、この新型コロナウイルスの状況下への対応を考えて参りたいと思致します。

若輩者でございますが、皆様のご指導・ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



神戸市外国語大学  
消費生活協同組合  
専務理事

中尾 太樹

(なかお・たいき)



甲南大学生活協同組合  
専務理事

内田 真紀子  
(うちだ・まきこ)

## 新たな状態への移行に向けて

明けましておめでとうございます。昨年から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、予防対策のための自粛活動により、学生の登校やキャンパス活動の制限があり、大学生協の事業も存続の危機となっております。甲南大学生協は、2020年に創立50周年を迎え、様々な感謝企画を準備していましたが、次年度以降へと延期をさせていただく事となりました。

連日、大学生の心のケアや貧困についての報道があり、私たちも組合員のために、今できることをやるという気持ちで、取り組みを進めた1年でした。様々な苦難がある中でも、学生を中心とした2021年度の新学期活動が盛り上がっています。自分たちが感じた不安を少しでも解消し、希望に変えられるよう、新入生を迎える準備を積極的に行っています。事業としてはまだまだ厳しいですが、自分たちの経験を糧にして、次の世代のために活かすことを考えている学生たちの逞しさに日々励まされています。元に戻るのではなく、新たな状態への移行に向けて、今の学生組合員の声を聞き、寄り添っていく所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。



兵庫県立大学生活協同組合  
専務理事

末松 泰信  
(すえまつ・やすのぶ)

## 2021年を迎えるにあたって

新年あけましておめでとうございます。まずは、未曾有ともいえる世界的規模の感染症拡大により、生活環境や経済状況が180度変わってしまいました。しかし、そのような中であっても、何事も正して規律を守る姿はさすが日本で、この国に生まれてよかったとつくづく思います。

大学の状況ですが、研究・教育機関としての機能はオンラインを中心に動いています。キャンパスへの立ち入りが解除され、昨年後半より徐々に戻りつつあるものの、従来半程度の人口、今後ワクチンの普及に収束が見られても、しばらくは対面を要するもの以外は非対面で行われると、また元の賑やかなキャンパスには戻らないと考えています。これは、組合員が当たり前のように学内に来ること前提として事業構築していた大学生協が、サービス提供方法すべてを根本的に変えなければ存続しえないことを意味します。

また、組合員の状況ですが、こと学生組合員は、外界との直接的な接点が制限される中、フラストレーションが生じ病気を発症する例も多々見られます。そこで、我々がケアできることは何か、本質的に存在意義を問われているのだと認識しています。旧年中は協同組合関係の皆様には様々なご支援を頂きました。本当に感謝しております。事態が落ち着いた上で、経済的な復興と組織の再生には相当な年月がかかると思われまます。どうか、引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



神戸親和女子大学  
生活協同組合  
専務理事

坂本 安弘  
(さかもと・やすひろ)

## 新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。旧年中は多大なるご支援賜り誠に有り難うございました。当生協は一昨年に累積損失を全て解消することができ、職員一同が新たな気持ちで臨む年になるはずだったので、非常に悔しいです。一時期の厳しいキャンパス環境は脱し、事業と活動を徐々に再開していますが、まだまだ予断が許されない状況の中、新年を迎えることになってしまいました。ただ、悲観するだけでは前に進むことができません。こんな時こそ、安心・安全をモットーとしていた大学生協の強みをいかに発揮したいと考えています。「キャンパスには生協があるから安心。安全な（感染防止対策がしっかり出来ている）生協を利用しよう。」となるように、職員が一丸となって頑張りたいと考えています。一日も早く、キャンパスに組合員が戻り、活気と歓喜に溢れる日がくることを待ち望んでいます。医療生協の皆様には、このコロナ禍の中、組合員の生命・健康を守るためにご尽力頂き誠に有り難うございます。この場をお借りし感謝のお気持ちを伝えさせていただきます。皆様のお力をお借りし、このコロナ禍を乗り切りたいと考えています。

本年も何卒よろしくお願い致します。



# 新年特集

## 2021年を迎えて



園田学園女子大学  
生活協同組合  
専務理事

大西 範和  
(おにおし・のりかず)

新年あけましておめでとうございます。2020年7月より園田学園女子大学生協の専務理事に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

昨年は全く予想できなかったコロナウイルスの影響を受け、過去に例をみない厳しい状況に陥りました。組合員の姿を見ることがなく、新学期がはじまり、緊急事態宣言解除後も感染対策をおこなないながらの縮小営業が続き、それは今年も終息の様子はありません。

2021年がどんな状況になるか予測はできませんが、こんなときだから生協があつてよかったと言ってもらえるように取り組みを進めながら、Withコロナ時代を乗り切るため、大きく体制を変えることも同時に考えていかなければなりません。

また、4月には新たに経営学部ビジネス学科がスタートします。組合員が増えることになり、混乱の中に確実に見える明るい光となります。

大変な年に役員交代となったこと、プレッシャーと責任を感じています。今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 2021年に向けて



甲南女子大学生生活協同組合  
専務理事

塩田 恵美  
(しおた・えみ)

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により今までに経験をしたことのない状態が続きました。大学内に学生がいない環境の中、どんな支援ができるのか、大学生協の役割を発揮すべく試行錯誤の一年となりました。「大学内に生協がある」、「いつでも気軽に立ち寄れる」ことが最大の特徴でありましたが、大学に行かなくても、離れていても、学生と繋がる、学生同士が繋がる取り組みが求められています。大学に来れば居場所があることが当たり前だった環境が変わり、学生の多く、とくに新生活を始めた1年生は、不安を抱えていると感じています。

後期に入り、徐々に学内に学生が戻る中、2020年11月27日に甲南女子学園は創設100周年を迎えました。100周年限定の食堂メニューの提供や、オリジナルグッズの作成など、こんな時だからこそ、学生と一緒に「楽しくなる」「明るくなる」「安心する」取り組みを大学とともに進めています。2021年も、アニバーサリーイヤーとしてさまざまなことに取り組み、将来に向かって羽ばたく学生たちが、実りある時間を過ごせるよう、今後も組合員のための活動を重ねていきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 新年を迎えるにあたって



神戸市立工業高等専門学校  
生活協同組合  
専務理事

寺田 雅裕  
(てらだ・まさひろ)

新年あけましておめでとうございます。旧年は大変お世話になりました。本年も何卒、宜しく願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるい、今もなおその影響が続いています。この新型コロナウイルスの流行は、今までの社会生活のあり方を大きく変えざるを得ない事態となりました。

本校においても例外ではありません。対面授業は約4ヶ月の休校、オンライン授業の期間を経て7月に再開されていますが、入学式や高専祭等の学校行事は中止、または大きく形を変えての実施となりました。

当生協でも、感染対策として食堂のテーブルに飛沫感染防止のためのパーティションを設置したり、座席数を減らして密になる状態を避ける等、感染対策を施しながら営業を続けております。

厳しい事業環境ではありますが、今回、大きな影響を受けた本校の学生に少しでも寄り添っていけるよう、勉学面でも生活面でもサポートを続けていければと考えております。そのために職員と力を合わせて尽力して参りたいと思いますので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



神戸薬科大学生活協同組合  
専務理事

内田 真紀子  
(うちだ・まきこ)

## 2021年に向けて

新年、明けましておめでとうございます。昨年からの新型コロナウイルス対策のための自粛活動により、神戸薬科大学生協においても、事業としては、大きな影響が出ています。

薬科大学として、実習を行い、国家試験受験に繋げていく義務があるため、大学との協力の中、より強力な予防対策を講じて、対応を行ってまいりました。その中で、兵庫JCC様からのご支援は、厳しい日常の中で学生の心を癒すものとなりました。本当に有難うございました。

大学当局からも、生協の危機に対し、ご利用の増加を始め、様々なご支援をいただきました。

現在は、学生組合員は時間差での登校となり、生協店舗の学生利用は昨年より大きく減少しています。ただ、このような時期だからこそ、薬大ならではの組合員と生協職員が顔の見える関係として、組合員の声を聞き、個別に提案することで、期待され必要とされる生協となるよう、取り組んでまいります。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



大学生協事業連合(関西北陸地区)  
常務理事(地区業務統括)

關戸 雅弘  
(せきと・まさひろ)

## 2021年を迎えて

みなさん、あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、人と人との往来が厳しく制限される1年になり、学びの場である大学を職域とする大学生協は非常に大きな影響を受けました。大学によっては、2020年度の新入生の多くが登校出来ない状況が長く続くようなこともあり、新入生を迎え、大学生活のスタートをサポートすることが充分に出来ないもどかしい思いもしました。また、会員生協によって登校率や営業体制にも差があり、事業連合の役割も問われる1年になったと受け止めています。

2021年4月の新学期を前にして、新型コロナウイルスの影響は引き続き継続しています。昨年度1年間、様々に変化する事態に手探りで対応してきた経験を基に、大学という職域でどのような福利厚生が求められているのか、既存の事業をどのように発展させていくのか、プランとビジョンを持って取り組み、組合員に向き合う会員生協の事業と組織運営をしっかりサポートできる1年にしたいと思えます。2021年が皆様にとっても「飛躍」の1年になりますことを祈念いたします。



神戸医療生活協同組合  
理事長

道上 哲也  
(みちがみ・てつや)

## 2021年の初めにあたり

新年おめでとうございます。

昨年は年初から大変な年になりました。新型コロナウイルス感染症対策に追われた一年で、事業や運動のすべての分野で大きな変化が求められました。わたしたちは、「患者・利用者の医療や介護を受ける権利を守る」「組合員と職員のいのちと健康、生活を守る」視点で、困難を抱えた人が孤立し、医療や介護にたどり着けないことがないように、人と人のつながりを大切にするとりくみを重視し、くらしの困りごとへの対応や相談活動にとりくんできました。事業所では、感染予防にしっかりと取り組んできました。医療・介護事業を継続させてきました。今年、神戸医療生協は創立60周年を迎えます。厳しい環境のなか、60年をふりかえり、先達が築いてきたものをしっかりと受け継ぎつつ、次の発展をめざし、地域の期待に応えられる「事業と運動」をすすめていきたいと考えています。

本年が組合員をはじめ、皆様にとって充実し、吉事が重なるよい年であることを祈願し、新年のご挨拶とします。今年もよろしくお願ひします。





# 新年特集

## コロナ禍だからこそ医療生協の活動を



尼崎医療生活協同組合  
理事長

大澤 芳清  
(おおさわ・よしきよ)

新年あけましておめでとうございます。

昨年6月に理事長に選出いただきました。

2020年はコロナ感染症の影響を強く受けた1年でした。当医療生協では4月の病院内でのコロナ陽性患者発生で機能を縮小したこともあり、法人全体として厳しい経営状況に陥りました。病院ではその後もコロナ感染疑いで入院いただくこともあり、感染予防対策やそのストレスなどで厳しい労働環境がさらに厳しくなりました。診療所群では外来患者減少など今までにない問題に直面いたしました。また、組合員活動にも大きな影響がありました。感染するのではないかと不安から班活動や訪問活動の多くが中止を余儀なくされました。コロナ感染症は今までに経験したことのない感染症であり、いまだに何が正しいのか何ができるのか手探りで進んでいるような状態です。コロナ感染症が広がって1年が経過することで全国にさまざまな経験が蓄積されていると思います。今年はその経験から学ぶことで昨年よりもさらに地域に密着した活動が可能になると考えています。地域のこまごまのことに対応する医療生協としてさらに前に進みたいと思います。本年もよろしくお願いたします。

## 持続可能なコミュニティを創る 一歩となる年に



阪神医療生活協同組合  
専務理事

蓮見 克也  
(はすみ・かつや)

昨年度は新型コロナウイルスから始まりました。

劇的に流行した際に、どのような対応が出来るのかと、考えながら行動していると1年が過ぎ去りました。命が優先か、経済が優先かの議論から、失業も貧困や自殺につながることから、どちらも命に関わる問題と認識が変わりゆく中、25〜34歳女性の完全失業率(季節調整値)が8月に4.7%に上昇し、年代別・男女別でみて顕著に悪化したことが28日、総務省の労働力調査で分かりました。高齢化社会において若年層はマイノリティーであり、当法人にとっても組合員を形成する主要な層ではありません。新型コロナ流行下における、高齢者の命がより危険にさらされる状況下においては当然ですが、インフルエンザの予防接種も高齢者優先で行われております。このような状況下において、高齢者はもちろんですが、若年層にどのように関わっていくかが、地域の未来を創るために必要です。

1つ考え得るのは、医療・介護業界の慢性的な人手不足を解消するため、若年層の失業者を繋いでいくことでWin-Winの関係が築けるのではないかと考えています。未来を築くために、「誰一人取り残さない社会」を目指す活動を始める年にしたいと思っています。

## 新たな時代に対応できる 仕組みづくりが求められている



宝塚医療生活協同組合  
理事長

砂盛 光偉  
(すなもり・みつひ)

新年あけましておめでとうございます。

誰もが想像しなかった新型コロナウイルス感染拡大により、患者さん・利用者さんの受診・利用抑制が増加し、経営は一気に悪化しました。緊急融資により窮地は脱しましたが、経営改善にはまだほど遠い状況です。組合員活動も自粛せざるを得ず、仲間増やし・班会開催などは大幅に減少しました。そんな状況にも関わらず、出資金増やしは予算を上回っています。大変な時こそ、なんとかしたいという組合員・職員の奮闘には頭の下がる思いです。

今後、経営活動はこのコロナ禍であっても、維持・発展させなければなりません。感染対策マニュアルを遵守し、患者さん・利用者さんが受診・利用控えにならない安心できる事業所体制が求められています。クラスターを発生させない為、日常での行動も、法人から対応について発信を定期的に行い、医療・介護の提供がストップしない取組みを進めていきます。また、組合員活動もWEBを使った取り組みや助け合い活動による援助など、組合員さんとのつながりを途切れさせることなく、この機会をチャンスととらえて、強めていけたらと考えています。他法人も大変だと思いますが、共に乗り越えていきましょう。



姫路医療生活協同組合  
専務理事

黒岩 勝博

(くろいわ・かつひろ)

## ウィズコロナ時代の新たな飛躍に向けて

新年おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の中、スタートしました。姫路医療生協は、2月27日に法人の新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げました。対策本部が、法人の全事業所、全職員の一元管理をおこない、「事業を継続する」「利用者の生活を守る」「職員の健康を守る」ことを重点にコロナ対策を推進してきました。

2020年は、コロナ対策を強化しながら事業と活動を推進しました。経営活動では増収増益の成果を上げることができました。組合員活動は2月に中断を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染対策を周知する中で、7月に再開することができました。訪問診療・訪問看護の利用者増を軸に地域密着型サービスの展開、介護と医療の一体化、ICTの積極的活用、地域の新たなつながりづくり等、コロナ禍であっても対応できる事業と活動のしくみを確立してきました。

2021年も引き続き、新型コロナウイルス感染対策を重視しながら環境変化と地域ニーズに対応し、新たな事業展開を計画的に推進します。コロナ禍の中、人と人との「つながり」や「参加」の重要性を実感しました。今後も、さらなるデジタル化を取り入れ、オンライン・オフラインのハイブリッドの事業と活動に深化させたいと考えています。



ろっこう医療生活協同組合  
理事長

村上 正治

(むらかみ・まさはる)

## コロナに負けずに医療生協を鍛え、 守り抜く年に

2019年末に中国武漢に現れた新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に広がって多くの命を奪うことになりました。これは天災でありますが、かかりたいときに受診できなかった患者様や介護利用者様には直接の影響がありましたし、診療所の利用者様であるというだけで風評被害にあわれた方も大勢あったと聞いています。スタッフにも緊張を強いての就労をお願いしています。本当に申し訳なく思っています。

新しい生活習慣に慣れつつも早く組合員活動を昔のように再開したい、元の生活に戻りたいというのが今の組合員全体の願いと思います。第二波が過ぎた頃から「仲間に会いたい」という声がたくさん寄せられ、ようやく、組合員活動を再開しつつありますが集まれている人は2〜3割です。

マスク、手洗い、ソーシャルディスタンスで我慢の2021年が始まりますが、何より待たれるのは新型コロナウイルスの接種開始と治療薬の普及です。もちろんこれは安全を確認しつつ慎重に始めなければなりません。ワクチンの効果もいまだ未確定と聞きます。医療スタッフ、組合員の英知を集めて最善の安全対策を取る努力を続けて参ります。困難な一年、皆さまのさらなる協力の力を信じて今日も励みますのでご協力よろしくお願ひします。



たじま医療生活協同組合  
専務理事

松本 幹雄

(まつもと・みきお)

## 持続可能な医療生協を目指して

新年あけましておめでとうございます。

昨年、当法人は創立25周年を迎えました。次なる飛躍への節目と位置づけていましたが、コロナ禍により厳しいスタートとなりました。

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、総代会が書面決議併用により開催規模が縮小されたことはじめ、3密回避等のため組合員活動や事業活動は大きな制約を受けました。従来の方々は通用せずことごとく見直しを余儀なくされました。

外出自粛により高齢者の孤立化等の課題も顕在化してきました。医療生協本来の役割の一つである組合員相互の支え合いの重要性が再認識されました。組合の原点への回帰が求められているといえます。今後、感染症のリスクは、ある意味で当たり前のものとして受け入れ、新しい生活様式に基づいた活動のあり方を工夫し定着させていく必要があります。

現在、当法人では2021年度から5年間の後期基本計画の策定作業を進めています。新施設建設等の重要課題を抱える中、持続可能な医療生協として将来への展望を明確にし、その実現に向け着実に歩みを進めていきたいと考えています。今年もよろしくお願ひします。



# 新年特集

## 2021年、コロナ下の栄養療法



ひまわり医療生活協同組合  
副理事長

三橋 徹

(みつはし・とおる)

新年を迎え、世界的な新型コロナウイルス感染症流行の中で、貴生協の奮闘に心から敬意を表します。

当医療生協も有症者の動線分離や日々の消毒など、できることから取り組んでいます。

この1年学んだことの一つに、栄養をチェックして感染に対する抵抗力をつけようということがあります。具体的には、血清アルブミン、25ヒドロキシビタミンDや亜鉛等を検査して、低値であれば食事の説明、投薬やサプリメントのお勧めを行い、3か月程度後に再検査をするという方法です。各々免疫力を保つのに必要ですが、意外に低値の方が多いことに驚いています。

この栄養療法は、免疫の基本的なことなので、ウイルスにも細菌感染にも有効であり、特にビタミンDと亜鉛は新型コロナウイルス感染症に有効か世界で検証されている最中です。

また、がん対策としても手術、抗がん剤、放射線治療の標準治療に加えて、予防から末期にいたるまでの支持療法として有効と思われます（その場合、ケトン食やCRP等も検討します）。

食事は体の素であり、課題もたくさんありますが、お一人お一人に関わることで今後も継続して取り組んでいきたいです。

## 新年おめでとうございませう



神戸市民生活協同組合  
専務理事

菅原 隆喜

(すがはら・りゅうき)

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

幼い頃、二十一世紀の未来社会を絵本などで夢見たのですが、そこは宇宙旅行や空飛ぶ自動車、ロボットなどが描かれたユートピアでした。

今、その二十一世紀となって、早や二十年が過ぎましたが、現実には夢見た世界とは程遠いままです。そして、私たちを待ち受けていたのは、新型コロナウイルスの出現によるパンデミックだったのです。その感染のスピードとスケールは未曾有の事態を全世界にもたらしました。今も第二波、第三波に襲われ、見えない敵にだけ立ち向かえばいいののか、とても言い知れないストレスを私たちは感じています。然も街並から人の気配が失われた世界はまさに近未来のディストピアを見ているようでした。

一方でコロナ禍は、劇的に進んだりリモートワークなどで場所を問わず働き、学べるようになり、ステイホームやソーシャルディスタンスがあたり前になるなど、ライフスタイル変革へのトリガーとして作用しました。今後のワクチン開発で社会が集団免疫を獲得したのちには、SDGsの目標達成に向けたイノベーションが実を結び、多くの国々で社会変革が一気に加速しそうな萌しを感じられます。

コロナ禍によって起こった現代社会のドラステックな変化のすぐ先には、かつて夢見た未来社会のユートピアが待っているのかもしれない。それを信じて、今年一年、事業に取り組んでまいります。

## プラス思考で地域とともに



尼崎市民共済  
生活協同組合  
理事長

河本 博志

(かわもと・ひろし)

新年あけましておめでとうございませう。

理事長に就任してはじめてのお正月であり、改めて理事長としての重責を痛感しているところです。

昨年は、新型コロナウイルスの発生により社会全体が大きな変化を余儀なくされた年でもありましたが、幸い尼崎市内においては大きな災害もなく、火災件数も大幅に減少しています。

世界経済を揺るがし、将来は間違いなく歴史の教科書に取り上げられるであろう新型コロナウイルスの流行下においても、大きな収益を上げ躍進する企業や分野もあります。

何事にも一方からの側面ではなく、見る角度を変えれば、また、状況や景色も変わります。物事をマインド思考ではなくプラス思考でとらえることも必要ではないかと思っています。

当組合においては、組合員数の減少が止まるところを知らない中、特に自然災害にも対応した火災保険の要望があったため、昨年10月から共栄火災海上の代理店業務を開始しております。

これからも、共済組合の本旨を忘れず地域に根差した共済組合として、不断の努力を惜しまず、着実に前進できればと思っておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。



姫路市民共済生活協同組合  
理事長

岡村 卓治

(おかむら・たかはる)

## 「新年の抱負」

新年明けましておめでとーございませう。新たな年を穏やかに迎えにいられたことあらためましてお喜び申し上げます。

しかしながら、本年の私達のお正月の風景は、例年とは少し異なったものが広がっているものと思えます。

新型コロナウイルスによるパンデミックは、昨年来、私たちの生活等社会システムに大きく影響を与えており、従来からの対面による多くのビジネスモデルなどは、否応なしの変革を余儀なくされました。

以前からも社会状況等の進展、環境の変化の速さは非常に早く、その速度に中々追いつくことに苦労していましたが、この度の新型コロナウイルスによるものは、私たちの社会システムそのものを変え、このことを問うなど、桁違いであったと考えています。

この様な状況下におきましても、私どもの姫路市民共済は、より良いものを常に組合員の皆様に提供できるよう、日々一層の努力を重ね、組合員の方々の気持ちに寄り添い、「安全」と「安心」をお届けする活動に重点を置き、助け合いの精神を大切に、確実に事業を継続していくよう努力してまいりたいと考えておりますので、今後におきましてもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



西宮市民共済生活協同組合  
理事長

岸本 正

(きしもと・ただし)

## 芽吹く年

新年あけましておめでとーございませう。

さて、昨年は新型コロナウイルスという目に見えない脅威との戦いに明け暮れた1年となりました。3密による感染拡大を防止するために人々の往来や接触機会をはじめ多くの社会活動が制限され、リモートワークや非対面によるオンライン化が進むなど従来の生活様式とは異なる対応を求められました。今年も暫くはその影響が残りそうです。確実なコロナ対策を講じて早い段階で克服できることを願っています。

ところで、今年「丑」年です。「丑」年は昔かされた種が芽吹く発展の年と言われるとともに、先を急がず一歩ずつ確実に歩みを進めることで将来の成功に繋げるという意味も込められているそうです。昨年蒔かれた種は決してコロナの種ではありません。コロナの脅威に立ち向かい一致団結した「たすけあい・ふれあい」の種だと確信しています。

私も西宮市民共済もこの種をしっかりと芽吹かせて、地域の皆様と共に確実な歩みを進めてまいりたいと思います。

今年もご指導ご鞭撻を賜りますとともに、皆様のご多幸をお祈り致します。



兵庫労働共済生活協同組合  
専務理事

道上 昌一

(みちうえ・しょういち)

## 新しい業務様式への転換にむけて

新年明けましておめでとーございませう。皆さま方におかれましては、ご家族共々新たな年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威をふるい、日常の事業活動も制限されることとなりましたが、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、「お役立ち」発想と「共創」活動をもって、運動と事業の継続に努めてきました。

現在も新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなかですが、「たすけあいの共済」としての役割・使命を踏まえ、新常态「New Normal」に適応していくことが喫緊の課題となっており、業務そのものを見直すデジタルトランスフォーメーションを推進するとともに、「3密の回避」が求められるなかで、直接的対面機会の再定義など、この度の危機に対する社会環境の変化を捉え、組織運営と業務執行全般のあり方について、「新しい業務様式への転換」をはかつていく所存です。

本年も引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 新年特集



近畿労働金庫兵庫地区本部  
本部長

清宮 豊

(せいみや・ゆたか)

コロナ禍の新しい生活様式の中でも  
ろうきんの役割発揮してまいります

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年から感染が広がった新型コロナウイルスは、未だに衰えることなく、経済活動に影響を与え、組合員の収入にも影響をおよぼしています。また、これまでの生活様式や概念も変えつつあり、テレワークによる在宅勤務、会議のオンライン化等々、組合員の働き方も変わりつつあります。

この様な状況下、近畿ろうきんは、『生活応援運動2020』を展開し、収入減少等の影響を受けた組合員の可処分所得向上に取り組んでいます。また、新しい生活様式にも対応できるWeb等の活用も取り入れ、「いつでも、どこでも。簡単・便利にろうきんを利用できる」最適なサービス提供にも取り組んでいます。

更に当金庫は、今年、第8次中期経営計画の初年度を迎え、次の3つに取り組めます。

組合員の生活を金融面で総合的にサポートする「生活応援運動の展開」、非対面取引の拡大と通帳レス、印鑑レス、ペーパーレスを実現する「商品・サービスの改革」、相談活動に特化するための「内外部制のスリム・スマート化」に取り組む、コロナ禍の新しい生活様式においても、すべての勤労者の福祉金融機関、「共生」や「公益」をめざす社会的金融機関として、ろうきんの役割を発揮してまいります。どうぞ引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 2020年度 兵庫県生協連 第4回理事会報告

【開催日時】 2020年12月7日(月) 14:00~15:20

【開催会場】 兵庫県民会館 7階「鶴」

【出席者】 木田会長理事、末松副会長理事、松岡専務理事、岡本、颯川、大沼、池上、瀬井、菅原、清宮（以上、理事）金丸、中川、岡村（以上、監事）

### <報告事項>

1. 分野別生協・団体（出席理事、監事）からの状況報告について
2. 2020年度上期活動報告・収支状況報告
3. 2020年度上期監事監査実施報告
4. 2021年「新春トップセミナー」詳細について
5. 「ひょうごまるごと健康チャレンジ2020」進捗について
6. その他 兵協連行事・活動報告（10月6日~12月7日分）
7. 2020年12月~兵協連主要行事スケジュール

## 2020年度「初級経理学校」のご案内

決算関係書類の見方、経営分析の目的と考え方等を基本から学びます。

日時：2021年2月12日(金) 13:30~17:30

会場：兵庫県民会館9階「902」または、オンライン (Zoom)

※対面・オンライン併用形式で開催します

受講料：無料

講師：日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部長 大澤 哲也氏 土屋 里奈氏

内容：「決算関係書類の読み解き方」

- ・決算関係書類の体系
- ・決算関係書類の見方
- ・経営分析の目的と考え方

申込締切：1月22日(金)

お問い合わせ・お申込は兵庫県生協連まで

TEL 078-391-8634

# 協同組合のかけ橋

JF

## JF 明石浦

第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会  
～御食国ひょうご～

### 大会記念リレー放流 in 明石 が実施される

令和2年11月10日(火)、明石市立中崎小学校3年生児童、JF明石浦、行政関係者が集まり、令和4年に開催される第41回全国豊かな海づくり大会の開催地である明石港で開催されました。

全国豊かな海づくり大会推進室小林孝司室長の挨拶の後、中崎小学校の児童は明石港ペランダ護岸でのマダイ放流、釣り堀（あつとしいー）での魚釣り体験、豊かな海と明石の魚を学ぶイベントを体験しました。

令和4年秋の大会本番に向けて、県内各浜、河川等で大会記念リレー放流が順次開催されます。



豊かな海についての学習

JA

## JA 丹波ささやま

### 地域に密着し必要とされる事業で 次世代とのつながりをつくる

JA丹波ささやまは、丹波篠山市から学童保育事業を受託し、児童クラブを運営しています。

JAでは、平成14年に合併し18年の支店統合によって空いた施設を活用して、地域に役立つ方法がないか模索していました。一方で、地域には核家族化や共働き世帯の増加によって、子どもを預ける施設の設置を求める声がありました。そうした中、閉鎖した支店の建物を利用して学童保育施設「児童クラブ」の運営にJAグループの中でも先駆的に取り組んでいます。

19年に2か所を開所したのち、現在は3か所の児童クラブを運営しています。月曜日から土曜日まで開所しており、小学1年生から6年生の児童が在籍しています。児童たちは宿題をしたり、おやつを食べて遊んだり、普段は接する機会が少ない学年の児童たちとも触れ合いながら、和気あいあいと過ごしています。職員は、「学校や家庭とは違う環境の児童クラブが、子どもたちにとってのびのびと過ごせる場所であってほしい」との思いで従事しています。

また、JAらしいイベントとして、バケツ稲づくりや季節の野菜の栽培、収穫した農作物を使った料理教室などの食農教育活動を企画しており、児童も楽しんでいます。

児童クラブは、児童とその保護者にJAを身近に感じてもらい、事業利用者を増やすきっかけになっています。学童保育を、地域ぐるみで子どもを育てるJAの活動として位置づけ、次世代とのつながり強化を目指しています。



児童クラブでのびのびと過ごす児童たち



## ～高齢者の消費者トラブルを紹介したリーフレット 「こんな手口に気をつけて」を作成しました～

ご高齢の方々が巻き込まれがちな消費者トラブルの代表事例をマンガでわかりやすく解説したリーフレットを作成しました。ご注意いただきたいポイントもまとめていますので、被害の未然防止にぜひお役立てください。

リーフレットをご希望の方は、当センターにお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

兵庫県立消費生活総合センター  
学習交流推進課

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

電話 078-302-4001

ダウンロードはこちら



(リーフレットの一部)

### 点検商法のトラブル

●事前の連絡もなしに不意に訪れ「点検する」「無料」という業者には警戒し、簡単に家に入れないようにしましょう。

●「特別に今だけ値引きする」など営業巧みに契約をせがむのが悪質業者の手口です。

●複数の業者から見積もりを取った上で自分が納得できる業者に依頼しましょう。

### 水回り修理サービスのトラブル

●マグネットやネット広告の料金をうのみにせず、事前に確認しましょう。

●複数の業者から見積もりを取り、作業内容や料金等を十分検討しましょう。

●急がされても、納得できない場合はきっぱり断りましょう。

●日頃から水道の元栓や止水栓の場所や締め方を確認しておきましょう。

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

みなさま、あけましておめでとうございます。適格消費者団体NPO法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。本年も、よろしくお願ひ申し上げます。

新しい一年が始まりますね、丑年です。「牛歩だが、大地しっかり、踏みしめる」前の丑年でいただいた年賀状にあった言葉です。

さて、前回の続きです。みなさま、オンライン講座などに参加していますか？オンライン講座は、通信環境の有無で、できる人とできない人に分かれてしまうのではないかと考えています。スマホが普及し、ほとんどの人が持っています。けれども、スマホ以外にインターネット環境がないという人も少なくないのです。なぜなら、スマホを持つだけでも、生活費の中で高額の支出になります。スマホに加えて、別のインターネット環境を持つと、それだけ、支出が増えてしまいます。また、スマホは契約内容によって、通信できるデータ容量が決まっています。それ以上を使用すると通信速度が制限されてしまい、通常の使用に支障をきたします。オンライン講座などの動画の再生は、大きなデータを使用します。速度制限になると、オンラインで講座を普通に見ることもできません。ひょうご消費者ネットでも、オンライン講座を始めた今、こんな心配が浮かんで来て、もやもやしてしまうのです。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



# MOVE

## 2020年度ひょうご消費者セミナー（オンライン開催）

新型コロナウイルスの感染拡大によって、自分の居場所を見失っている人が増えています。セミナーでは、人と人が触れ合う、集う場の大切さや、自分の居場所を見つける大切さについてお話しさせていただきます。

日時：2月23日（火・祝）14：00～15：30

内容：講演「コロナ時代の居場所の見つけ方」

講師 迫 裕太さん（株式会社LITALICO サービス開発責任者）

ひょうご消費者ネット、消費者支援機構関西の活動紹介

定員：150人（先着順）

参加費：無料

応募方法：件名を「消費者セミナー」として、①名前②電話番号を明記の上、電子メールでお送りください。ご案内は2/19金に参加用URLをお送りします。パソコンからの受取に制限をかけている場合は、あらかじめ解除ください。

申し込み先：兵庫県生協連 E-mail: hyogo@kobe.coop.or.jp

締切：2月12日（金）※但し定員に達し次第締め切りとさせていただきます

主催：兵庫県生協連、コープこうべ、ひょうご消費者ネット、消費者支援機構関西

後援：兵庫県 神戸市

※オンラインセミナー（Zoom）となります。視聴には、インターネットを利用できる環境が必要になります。



## 2020年度兵庫JCC協同組合研究・交流会

～ JF 坊勢の漁業見学船に乗り、漁業と豊かな海を守る活動を学んでみませんか～

日時 1月22日（金） 9：10～13：30

※荒天の場合は1月25日（月）に実施します。

行程 9：10 JF ぼうぜ 姫路まえどれ市場 集合  
9：20～12：30 漁業見学船「第8ふじなみ」で漁業の見学  
12：30～13：30 妻鹿港に下船後、昼食

※JF 坊勢直営店 姫路まえどれ市場で、食事と買い物をお楽しみいただきます

定員 25人

応募締め切り 1月12日（火）※但し、定員に達し次第、締め切りとさせていただきます

お問い合わせ・お申込みは兵庫県生協連まで TEL 078-391-8934



第8ふじなみ

### 県連行事予定

- 1月9日（土）新春トップセミナー（県民会館 福/オンライン併用）
- 1月14日（木）兵協連 第3回 大学生協部会（県民会館 901）
- 1月15日（金）兵協連 税務・経理講習会（県民会館 902/オンライン併用）
- 1月18日（月）兵協連 監事と代表理事懇談会（県民会館 302）
- 1月20日（水）兵協連 第4回 生協活動委員会（県民会館 鶴）
- 1月22日（金）兵庫JCC 協同組合研究・交流会
- 1月29日（金）第1回 虹の仲間づくりカレッジ（コープこうべ 協同学苑）

### 予告

第11回兵協連 労働安全衛生研修・学習会

日時 2月22日（月） 14時～16時

場所 県民会館10階「福」/オンライン併用

テーマ 「新しい時代に求められる職場づくり」

※詳細は2月号でご案内します。

### 編集後記

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。先日、講演会で「1週間続くと習慣になる」と聴きました。9月から始まった「ひょうごまるごと健康チャレンジ」もいよいよ終盤です。まずは1週間チャレンジください！30回チャレンジできたら、達成報告はがきの郵送もお忘れなく。締め切りは2/10（必着）です。皆様にとって良い年になることを願っております。今年もどうぞよろしくお願いたします。